

# 令和6年度 能美市立和気小学校 学校経営具現化に向けた学校評価表（前期）

項目	具体的方策	主担当	【評価指標】 〈成果指標〉 〈努力指標〉 〈満足度指標〉	【評価の根拠】 達成度判断基準	評価	
1	【ロードマップの活用】 学校力向上ロードマップを活用し、組織的・計画的に運用する。	永吉	【努力指標】 自分の担当分掌について、毎月ロードマップを検証することで、取組の見直しが行われている。	【教師アンケート】 「自分の担当分掌について、毎月ロードマップを検証し、適切な取組となるよう見直しを行った」と肯定的に回答する教師の割合が A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満	【教師】	
			【業務改善】 多忙化改善に向けた取組や意識改革を推進すると共に協力・協働による有効な（効率的な）業務遂行を図る。	【教師アンケート】 「学校運営において、業務の平準化やワークライフバランスを意識し、業務改善に努めた」と回答する教師の割合が A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満	【教師】	
2	【授業改善】 児童主体の授業をつくる。	稲井	①課題に対して学習形態や学び方等を選択させるなど、児童が自力解決できるための手立てをとる。	【教師】①「児童が自力解決できるための手立てをとっている」と肯定的に回答する教師の割合が A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満 【児童】①「算数の授業中、自分の力で問題を解くことができた」②「1時間(45分)の間、ねばり強く学び続けることができた(アンケートでは学び続ける具体の姿を明示)」と肯定的に回答する児童の割合が A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満	【教師】 【児童】	
			②よりよい解決策を探ったり、発展問題に挑戦したりできるように児童が思考し続けるための手立てをとる。			
	【NEXT GIGAの推進】 ねらい達成のためにICTを効果的に活用した授業構想を立て、実践を進める。	稲井・竹内	ICTをねらい達成に向けて子どもが主体的に端末を活用できる授業構想を立て、実践を進めるように努めている。	【教師】「ねらい達成に向けてICTを使った授業を行っている」と肯定的に回答する教師の割合が A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満	【教師】	
			【学力の向上①】 AIドリルや帯タイムを活用して基礎学力の定着、習熟を図る。	永吉	【成果指標】 単元末テストの平均（知識及び技能）で（低学年）85点以上（高学年）80点以上達成した児童の割合が8割以上を目指す。	【各種教育データ】 単元末テスト（知識及び技能）で低学年85点、高学年80点以上達成した児童の割合が、 A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満
【学力の向上②】 読書活動を充実させ、読書の質の向上を図る。	竹内	各学年のおすすめ10冊を1年間で読むことができる。	【各種教育データ】 「おすすめ10冊」のチェックカードを前期、後期に集め、検証する。（達成率） 前期…5冊以上 後期…10冊以上達成した児童の割合が、それぞれ A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満	1年 2年 3年 4年 5年 6年		
		【児童会活動の充実】 児童主体の児童会活動を通して、主体的実践的な態度を育成する。	清川・深田	児童が児童会活動に積極的に参加し、児童会目標を達成しようとしている。（児童会活動とは、各行事、委員会の取組、たてわり活動など）	【教師アンケート】 「児童が主体的に取り組めるように働きかけた。」と肯定的に回答する教師の割合が、 A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満 【児童アンケート】1～4年「児童会活動の取組に前向きにさんかできた。」5・6年「児童会活動を通して、何事にもねばり強くチャレンジし、楽しさを見つげられた。」と肯定的に回答する児童の割合が、 A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満	【教師】 【児童】
【道徳授業の工夫】 道徳の指導法を工夫し、考えを聴き合い伝え合う授業づくりを行い、道徳的実践意欲を高める。	深田			児童の振り返りに、目指す姿に向けた変容が見られる。	【教師アンケート】 「道徳的価値を自分ごととして考え深められるような手立てや工夫を行うことができた」とする教師の割合が A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満 【児童アンケート】「道徳の授業の中で自分ごととして考えることができた」と肯定的な回答する児童の割合が A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満	【教師】 【児童】
				【校内支援体制の充実】 不登校等の未然防止のための校内支援体制や教育相談、児童理解の会を充実させ、専門組織との連携に努める。	清川・中野	【努力指標】 情報交換を密にし、担任や各主任が連携・協働し、諸課題の早期解決・未然防止に努める。
4	【体力向上の工夫】 体力アップ1校1プランの取組等を推進し、体力の向上を図る。	北川	3年生以上の4学年で「20mシャトルラン」の記録を5月に計測し、12月には5月の記録を2回以上のばす。	【各種教育データ】 【体力テストの結果】 3年生以上の4学年で「20mシャトルラン」の記録を5月に計測し、12月には5月の記録を2回以上のばすことができたのは、4学年中、 A：4学年が達成 B：3学年が達成 C：2学年が達成 D：1学年が達成	実践中	
			【生活習慣の確立】 早寝早起きや「よいねむり」の習慣化により、基本的な生活習慣を確立することで、心身の健康の保持増進を図る。	北川・木戸口	【生活アンケート】 早寝早起きと睡眠の大切さについて児童・保護者に発信し、「よいねむり」ができている児童の割合を80%以上にする。	【生活アンケート】 「よいねむり」ができていない児童の割合が A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満 【保護者アンケート】 8時間以上の睡眠時間（低：9時間、高：8時間）を週に4日以上とることを心がけていると回答する保護者の割合が A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満
5	【ふるさと教育の推進】 ふるさとのことを知り、ふるさと愛を育む、ふるさと教育を推進する。	教頭	地域教材等地域の特色を生かしたふるさと教育の推進に努める。	【教師アンケート】 「地域教材等地域の特色を生かした教育活動を行った」と回答する教師の割合が A：100%以上 B：90%以上 C：80%以上 D：80%未満 【児童アンケート】 「生活科・総合や地域の方との学習を通してふるさとが好きだ」と回答する児童の割合が A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満	【教師】 【児童】	
			【あいさつができる子の育成】 気持ちよい挨拶ができる子を育てる。	清川	【努力指標】 児童が相手意識を持って挨拶をしようとしている。	【児童アンケート】 「学校で「おはようございます、こんにちは、さようならなど」のあいさつを自分からすることができる。」と肯定的に回答する児童の割合が A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満 【保護者アンケート】 「子どもは地域や家庭であいさつをしている。」と肯定的に回答する保護者の割合が A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満